①地域協働スペース:caféふう(奥)では生徒がケーキやコーヒーを提供し、NPOカタリバが生徒の学習指導にあたる　②ディスカッションなどで自主性を育むALS(アクティブ・ラーニング・スペース)
③演劇をはじめとした講演やシンポジウムが行える多目的ホール「みらいシアター」　④トップアスリート系列の活動を支える体育施設の一つ「アリーナ2」はバドミントン10面を備える

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

FUTABA FUTURE SCHOOL

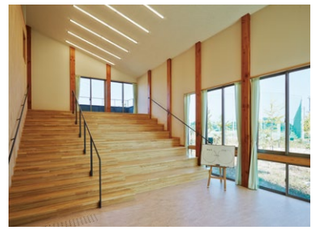
双葉郡・日本・世界の未来に貢献できるグローバルな人材育成を目指す

福島県双葉郡では、原発事故により8町村の5つの高等学校が休校となり、県内各地でサテライト校として授業が行われてきた。このような中、8町村は「福島県双葉郡教育復興ビジョン」を策定。中高一貫教育を実現する場を新設すると明記した。2015年4月、ふたば未来学園高等学校が開校。復興を果たすグローバルリーダーの育成構想が評価され、福島県内初のスーパーグローバルハイスクールに指定された。2019年3月には、多目的ホールやアリーナ、寄宿舎などが装備された中高一貫校が竣工した。ここには、アカデミック系列・トップアスリート系列・スペシャリスト系列という3系列の総合学科が設けられており、5校の伝統や強い想いが継承されている。「双葉郡は、地震・津波に加え、原子力災害という、今まで人類が経験したことのない災害に見舞われた。ここで急速に進んでいる少子高齢化や過疎化は、SDGs(持続可能な開発目標)の視点からすると世界が直面している課題。これを解決するには、自分を変え、地域を変え、社会を変える人材が必要になる。その資質として『自立』『協働』『創造』を掲げ、自主性を育む場を用意した。このような場を活用して将来のグローバルリーダーを育てたい」と同高等学校 教頭の山本 健弘氏は語る。

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

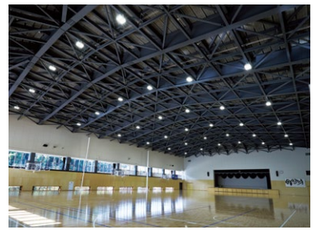
所在地／福島県双葉郡広野町
事業主／福島県
設　計／辺見・阿部設計共同体
施　工／横山・陰山・清水建設共同企業体(体育施設棟)
　　田中・堀江 特定建設共同企業体(特別教室棟)
　　横山・亀谷 特定建設共同企業体(普通教室棟)
　　田中・常磐 特定建設共同企業体(寄宿舎)
電気工事／高柳電設工業株式会社(体育施設・特別教室・普通教室棟)
　　三浦電気工事株式会社(寄宿舎)
竣　工／2019年3月

一体型LEDベースライト iDシリーズが採用された普通教室

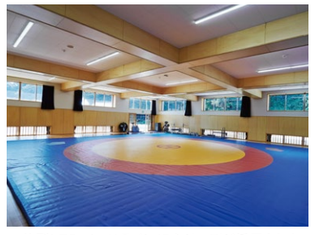


上下階のアクセスにも利用される階段教室

ライン状の照明がシャープな印象を与える図書室



バスケットコートが3面取れる「アリーナ1」



一体型LEDベースライト iDシリーズが採用されたアリーナ棟の柔道・レスリング場

アリーナ棟の剣道場

学校配置図

1. 管理棟
2. 多目的ホール「みらいシアター」
3. 地域協働スペース「双葉みらいラボ」
4. 特別教室棟
5. アリーナ棟
6. 普通教室棟

主な設備

- 一体型LEDベースライト iDシリーズ
- LED高天井用照明器具
- LED照明器具
- 照明制御システム
- 設備時計
- スイッチングハブ
- 換気システム(寄宿舎)

ウェブサイトでもご覧いただけます